

平成29年度 第1回 院内合同研究発表会

期 日 平成29年9月29日（金）

外来部門における大規模災害訓練の成果

中安 規絵¹⁾ 神出 佳子²⁾ 坂部 直子³⁾

土下 由美子⁴⁾ 道洞 淳子⁴⁾

1) 高山赤十字病院 健診センター

2) 高山赤十字病院 はなさと

3) 高山赤十字病院 2病棟3階

4) 高山赤十字病院 入退院支援課

【はじめに】

これまで当院では、大規模災害訓練として多傷病者受け入れ訓練を行ってきたが、平成26年度より外来患者を安全に避難誘導するための机上訓練も行ってきた。その結果、各診療科だけでは解決できない課題があがった。そこで平成28年度は全ての外来部門（診療科、放射線科、リハビリ科、薬剤部、検査部、医事課、健診センター）が大規模災害発生時の初動の対応を連動して行い、課題を解決すべく、外来部門を中心とした大規模災害訓練を行ったので、その成果を報告する。

【目的】

外来部門を中心とした大規模災害訓練を行い初動の対応を検証する。

【方法】

1.準備

各部署より選出された災害対策検討委員会を中心にマニュアルの見直し、「外来患者帰宅・在院判定フローチャート」の作成、施設の被災状況確認するための担当部署を決定。事前にミーティングを行い手順や意思の統一を図った。

2.訓練

1) 日時 平成28年10月8日（金）17時30分～20時

2) 内容

- ①アクションシートに従い安全確保、被害状況の確認、患者の安否確認を速やかに行う。
- ②フローチャートを用いスムーズな患者・家族のトリアージ、避難誘導をする。
- ③訓練経過を振り返る。

【結果】

- ①について、緊急地震速報発令後各部署のリーダーを中心とし、アクションシートに従い行動できた。
- ②について、フローチャートは外来部門共通であったため、スムーズにトリアージができ避難誘導ができた。
- ③について、トリアージ「済」を示す印・状況報告場所・帰宅困難者の待機場所・処方箋用紙について課題が見つかった。

【まとめ】

訓練を行うにあたり外来部門共通のフローチャートを作成しマニュアル化したことで、各部署の役割が明確となり、初動

の対応がスムーズに行えた。また新たな課題について外来部門で話し合い、解決方法を提案した。今後この提案を次回の訓練で実施し、外来部門での災害訓練を重ね、より安全に避難誘導をしていきたい。

キーワード：外来部門・大規模災害訓練・トリアージ・マニュアル・フローチャート